

# 就職レポート

政府系金融機関

2013 年度卒 志賀裕文

## 1. 会社の事業

民間金融機関の行う金融の補完を旨としつつ、広く国民に対して事業資金の融資を行い、以て国民生活の向上に寄与することを目的としています。私の所属する事業部では、中小企業を対象に、融資業務を中心として、信用保険業務、証券化支援業務など多岐にわたる業務を展開しています。特に融資業務では、ガバナンスを重視した的確な政策金融を実施するという基本理念の下、地域活性化支援・環境対策・海外展開支援・事業再生支援など、顧客の幅広いニーズに合わせて政策的の高い特別貸付に取り組んでいます。

日本の全企業の 99% を占める中小企業を包括的に支援していくことで、日本経済を根幹から支えていくという使命感を感じられるという点や、日本の様々な地を回って地域経済の成り立ちを知り、その特性や多様性を学ぶことができるという点で、非常にやりがいのある仕事であるといえます。

## 2. 研修と配属

4 月から各支店に配属される 8 月までの間、座学を中心とした業務内容の理解に時間が充てられていました。具体的には、ビジネスマナー、会社概要とその理念の理解、金融・会計知識の習得、各種資格試験の取得や通信教育、企業訪問など、内容は多岐に渡ります。4 ヶ月という長期間にわたって私たち新入職員に割かれる研修への投資は非常に大きいものであり、それに見合う成果を今後出していかなければと感じながら日々の研修に取り組んでいました。

8 月からは全国各地の支店に新入職員が本配属となりました。配属から 2 か月が経った今は、決算書の読込・整理、財務分析、企業格付付与、契約手続き等を中心に、研修で身に着けた知識を実践でフルに生かすべく業務に励んでいます。日々の業務を通して、(財務的視点から)「企業を見る目」を養うことを意識しています。

## 3. 社会人になって

4 か月の研修期間は、お給料をいただいて勉強をさせていただいている身でした。いい身分だと思われる方もいるかもしれませんが、その分一つ一つの取り組みが自分の今後の会社への貢献に大きく関わってくるという点で、緊張感を持って毎日を過ごしていました。

しかしながら、配属後の新人が会社に貢献できることは正直あまりなく、まだまだ駆け出しです。座学と現場とのギャップに驚き奔走しながら、ただただ日々の仕事を懸命に行うだけです。その意味でも、社会人として最低限の知識やマナーを身につけ、誠意を持って周りの人たちと関わっていくことが大切だと考えています。そのような基本を押さえるところから社会人の魅力は滲み出てくるものだと思います。早いうちに自分の付加価値を見出そうと、そういった意識が自然と芽生えてきたことが、学生時代と一番異なる点です。大学の学問とは違った意味で、社会に出たら学ぶことは本当にたくさんあります。今は、帰宅後「今日はどんな貢献ができたか」を考える毎日です。

また、関わる人たちが学生時代とは変わります。ゆえに、これまで以上にコミュニケーション能力が試される現場でもありますし、社会人になって数ヶ月の今は、全てが新鮮です。不安もありますが、自分の世界が広がるという意味で非常に充実しています。

#### 4. ゼミ生へ

先述しましたが、社会人になると、（業界や企業にもよりますが）関わる人々がこれまでと圧倒的に変わります。ですので、今のうちから様々な年齢層や境遇の方との対人折衝能力を磨いておくことをお勧めします。幅広い種類の人々と関わるということです。「コミュニケーション能力」の重要性が取りざたされて久しいですが、その根幹はそんなところにあると考えています。その意味でも、「社会人との関わり方の常識」がどんなものか、今のうちから調べてみると良いと思います。いろいろなギャップに戸惑うと思いますので。

また、新鮮な毎日に刺激を受けている半面、学生時代の生活が早くも懐かしくなっています。毎日を無駄にせず真剣に過ごしてください。4年生は学生生活もあとわずかです。論文をはじめとした勉学、キャリアについて考えること、その他挑戦したいことなど、今からでも真剣に取り組むことをお勧めします。私は社会人になって、限られた時間を濃密に過ごそうと心掛け始めましたが、学生の頃より絶対的に時間が足りなくなります。どのように過ごすかは人それぞれですが、絶対に後悔のないよう、充実した学生生活を送ってほしいと思います。

以上簡単に近況のご報告でした。皆さんの近況もぜひ伺いたいので、何かありましたらいつでもご連絡ください。

みなさんのご活躍を期待しています。

2014年10月